

とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年12月4日発行 第25号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団 の活動を紹介〈その15〉

より良い人間関係を築くために 「さらべつほーぷ」の方々から学ぶ

更別中央中2年生が11月18日に、「さらべつほーぷ」の皆様にご協力いただき、「自分も相手も大切にするはっきりタイプのコミュニケーションスキル」の授業をしていただきました。

5時間目は、部活動の中でのトラブルが起きた時、どんな解決をしていったら良いか考えました。

だって……

あんなパスじゃ誰もとれない。……何考えてるんだよ。



2年団の先生方が熱演……部活動のトラブルの「けんかタイプ」と「弱気タイプ」

一番良いと思う解決方法を選ぶには次の、3つのステップを踏むことが大切だということ学びました。

ステップ1 STOP「止まって」

何が問題なのかを明らかにする

ステップ2 THINK「考えて」

選択肢と結果を予測してみる

ステップ3 GO「決めよう」

一番良いと思う解決方法を考える

このステップをもとに、自分の意思を伝えるべき時に、相手のことを理解した上で、自分の考えをはっきりと言う「はっきりタイプ」で伝えていくことを確認しました。生徒

はいろいろな解決方法を見つけ、積極的に全体の場で発表していました。

6時間目は、仲良しの異性から「二人だけのカラオケに誘われた」「家に誰もいないから遊びにおいでと誘われた」場合の気乗りしない、良くない誘いを断る練習をしました。

「はっきりタイプ」で断れるようなセリフを考え、台本を書きました。その後、グループ内で誘われ役、誘い役、合図役、観察役の役割に分かれ、ロールプレイング(役割演技)をしました。誘われ役の断り方は、どこが良かったかお互いに評価しながら進めました。

6名のさらべつほーぷの皆さんが来校



【役割を決めてロールプレイング 「スタート」、「はいカット」】

生徒からは、「トラブルになった時には、すぐ自分の気持ちを抑えるのではなく、相手を考えながら自分の気持ちをしっかり伝えることが大切だと思った。」また、良くない誘いを断るロールプレイングをしてみて、「相手を傷つけず、無理だと思ったことは断れるようになってほしい。」という感想が寄せられていました。

更中生徒会 全学年で地域のごみ拾いを実施

6月に引き続き、11月2日に2回目の「それいけ！更中ゴミ拾い隊」の活動が行われました。生徒は、地域に感謝する気持ちをもって、ゴミを拾いました。



軽トラに積まれた
沢山のゴミ



【いろいろなゴミがあった】